

HINO CITY 2026-2030

日野地域未来総合戦略

(第2期日野市まち・ひと・しごと創生総合戦略)

概要版

健やかな暮らしを共に創る未来への挑戦

戦略対象期間：令和8年度～令和12年度

戦略のビジョンと背景

日野地域未来ビジョン2030「しあわせのタネを育てあう日野」の実現へ

戦略の位置づけと目的

PURPOSE



なぜ作るのか

限られた経営資源の中で、ビジョンの理想像を実現するための「選択と集中」の道筋を示します。総花的行政からの脱却を図ります。

SCOPE



各計画の統合

地方創生、SDGs、行財政改革の3つの重要計画を一つの戦略に統合し、一貫性のある施策を推進します。

OWNED



誰の戦略か

市民・企業・行政が共に日野の未来を創るための「共通の作戦書」です。共創による課題解決を目指します。

日野市の現状:人口と高齢化の推移

18.9
万人

現在の総人口

2030年代以降に本格的な
減少局面へ

24.7
%

現在の高齢化率

2040年代には33%超えが
見込まれる

1.08

現在の出生率

国立社会保障・人口問題研究所の「低
位推計」をさらに下回るペース

日野市が直面する構造的な課題



公共施設の老朽化

高度経済成長期に設置された施設の更新費用が集中。
統廃合・複合化によるファシリティーマネジメントが不可避。



少子化・担い手不足

出生率の低下と生産年齢人口の急減。
地域コミュニティの担い手不足が深刻化。



産業・農業の縮小

製造業は大規模工場の相次ぐ移転で製造品付加価値額が大幅減。
農地も減少しており、広く「産業」の在り方が転換期。



財政の制約

少子高齢化による税収減と扶助費の増は既定路線。
規律ある運営と新たな収益源の確保が求められる。

MWポートフォリオ 「選択と集中」の可視化



Will (市民の思い)

ワークショップ「ひの戦略ラボ」
や日野地域共創プラットフォームでの意見徴取を通じた理想
の未来像の設定



Must (客観的必要性)

データ分析から導かれる
「やらなければ致命的になる」構
造的必要性の特定



選択と集中

リソースを最適配分し、真に
必要な施策にアクセルを踏む

戦略的ロードマップ～まちの持続的成長への投資～

MAIN GOAL

自然と人が響き合い、健やかな暮らしを未来につなぐまち

TARGET 1:根を張る

まちが揺らがない

- ▶ 安全安心・危機管理
- ▶ 行財政運営・ファシリティマネジメント
- ▶ 経営戦略・DX
- ▶ 都市基盤・交通

TARGET 2:葉をつける

まちが機能し活力を生む

- ▶ 教育・生涯学習
- ▶ 環境・GX
- ▶ 健康・医療
- ▶ 産業・雇用

土台を固め、
生存の基盤を整える投資。

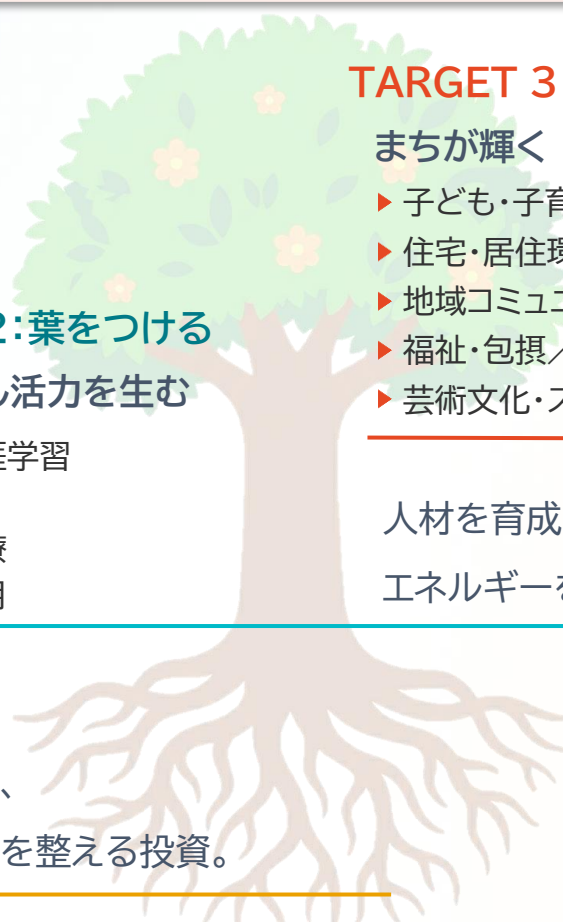
TARGET 3:花を咲かせる

まちが輝く

- ▶ 子ども・子育て
- ▶ 住宅・居住環境
- ▶ 地域コミュニティ・共生・共創
- ▶ 福祉・包摂／農業・観光
- ▶ 芸術文化・スポーツ

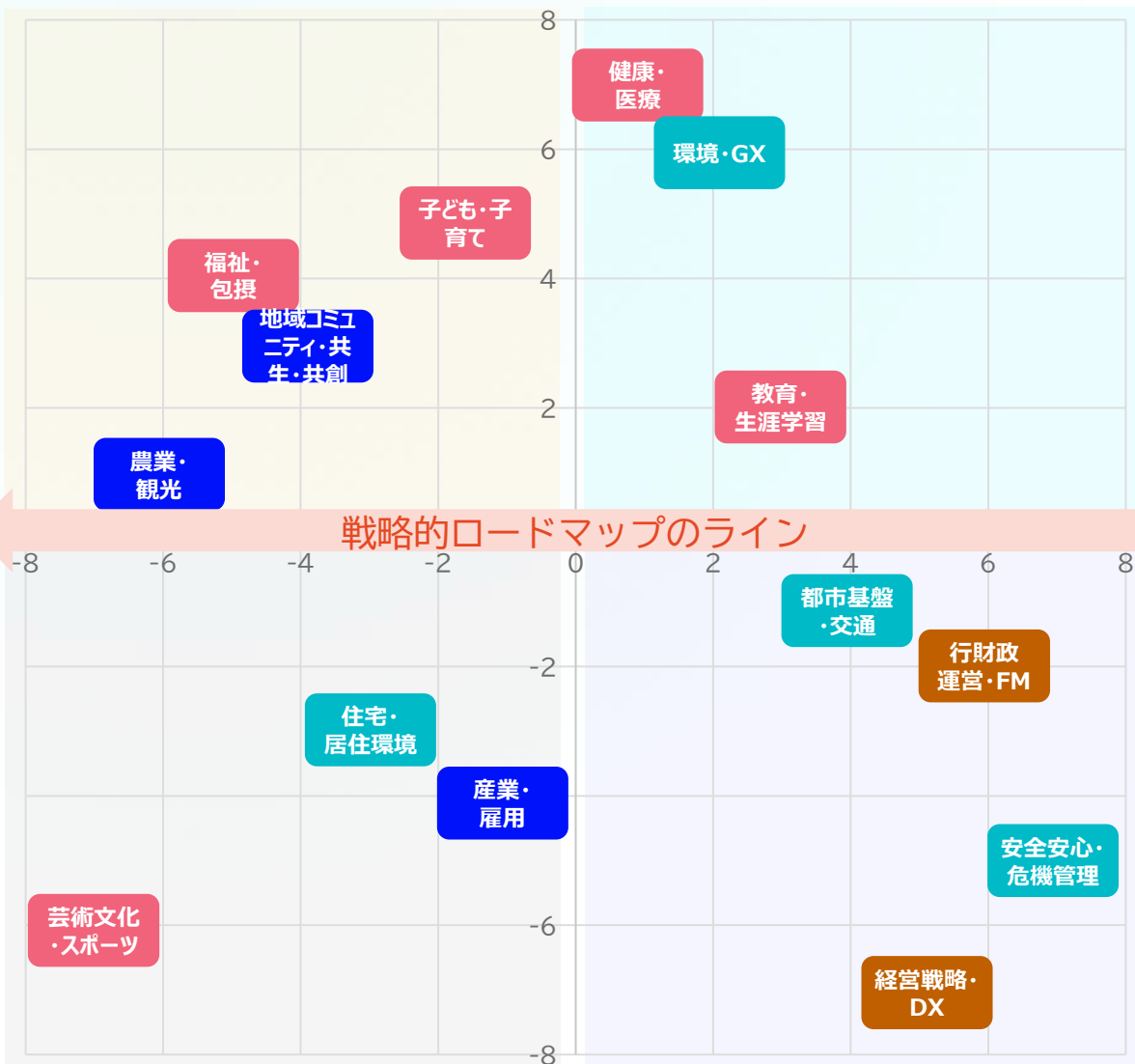
人材を育成し、社会を動かす
エネルギーを生む投資。

成熟したまちの魅力を次世代に
継承する投資。



MWポートフォリオ 「選択と集中」の可視化

↑高い Will(目指すべき理想・市民の声) 低い↓



← 低い Must(構造的必要性) 高い →

■ Must高・Will高 → 重点的投資領域
 行政上不可欠かつ市民の期待も高い。最優先でアクセルを踏む領域。
 例)健康・医療、行財政運営

■ Must低・Will高 → 戦略的投資領域
 日野市らしい理想像に向けてエネルギーを蓄えて挑戦する領域。
 例)子育て、環境・GX、福祉

■ Must高・Will低 → 改革的投資領域
 初期投資をかけて速やかに改革する必要性が高い領域。
 例)DX、都市基盤、安全安心

■ Must低・Will低 → 公共的維持
 民間への主体移転や共創による取組などで公共的な役割を維持すべき領域。
 例)農業・観光、芸術文化

MWポートフォリオの読み方と注意点

- ◆ 横軸 (Must軸) が右にあるほど優先度が高い領域であるため、優先的な投資領域となりますが、左側にあるからと言って全く投資しないわけではありませんし、市民社会に混乱を生じさせるような急変は行いません。あくまでも限られたリソースの配分目安でしかないものをご理解ください。
- ◆ 縦軸 (Will軸) が上にあるほど高い目標をもって理想を実現していく領域であるため、投資すべき量を高めていくこととなりますが、下側にあるからと言って全く投資しないわけではありませんし、当該行政分野が市政にとって重要ではないということの意味しません。逆に、将来的な投資量を低減させるため当初投資を厚くするアプローチを行う場合があります。あくまでも最終的な投資量の配分目安でしかないものをご理解ください。

分野別KGI・KSF

Target 1: まちが揺らがない土台の強化(根)

安全安心・危機管理

Must+7/Will-5

災害や犯罪から守られ、地域で助け合い、安心して暮らし続けられるまち

KGI(達成目標)

- ① 災害時の死傷者および被害の最小化
- ② 犯罪・交通事故発生件数の継続的減少

KSF(成功への鍵)

避難所等の物理的・人的機能の整備／市民が自律的な避難行動をとれる防災ネットワーク／安全・安心に暮らせる地域生活環境の確保

行財政運営・ファシリティマネジメント

Must+6/Will-2

持続可能な財政基盤と施設管理により、次世代に最適なサービスをつなぐまち

KGI(達成目標)

- ① 公共施設総延床面積の最適化、公共施設の長寿命化と機能維持(削減目標の達成)
- ② 経常収支比率等 財政健全性指標の維持・改善

KSF(成功への鍵)

利用データに基づく統廃合・複合化・多機能化の合意形成／PPP・PFI等 民間活力の活用定着／コスト対効果と「選択と集中」の徹底

経営戦略・DX

Must+5/Will-7

デジタルで市民の利便性が向上し、データに基づく行政経営が進むまち

KGI(達成目標)

- ① 行政手続きのオンライン完結率の向上
- ② 職員のワークエンゲイジメントスコア

KSF(成功への鍵)

「来庁不要」で手続きできる手段があり、市民が容易に利用できるよう整備されている／デジタルデバイド対策(サポート体制)／職員が失敗を恐れず新しい企画にチャレンジでき、やりがいと誇りをもって働ける環境

都市基盤・交通

Must+4/Will-1

コンパクトで持続可能なまちづくりの面的整備と移動手段が確保されたまち

KGI(達成目標)

- ① 幹線道路を中心とする都市計画道路の整備率
- ② 市施行4地区区画整理区域内の生産年齢人口の増加

KSF(成功への鍵)

都市計画道路の整備・充実等による道路ネットワークの構築／市内の交通円滑化と防災機能の向上／地域実情に応じた持続可能な移動手段(コミュニティバス等)の確保

Target 2: まちの機能と活力の創出(葉)

教育・生涯学習

Must+3/Will+2

一人ひとりの特性に応じた、安心して主体的に学び成長できる環境や、学び直しと活躍の循環があるまち

KGI(達成目標)

- ① 学校が楽しいと感じている児童生徒の割合
- ② 生涯学習や地域活動への市民参加率

KSF(成功への鍵)

ICTを活用した個別最適・協働的な学びの実践／学校・家庭・地域等の切れ目のない連携体制／地域課題解決のために知識を得る場所・機会がある

健康・医療

Must+1/Will+7

データ等に基づいた予防医療が行き届き、健康を保って自分らしく暮らせるまち

KGI(達成目標)

- ① 健康寿命(平均自立期間)の延伸、医療費の適正化
- ② 自らの健康を意識し、尊厳をもって生活する市民の割合

KSF(成功への鍵)

市民が主体的に健康管理できる／デジタルを活用した疾病予防・早期発見体制の充実／地域医療機関や介護生活支援、認知症対策等を含めた地域包括ケアシステムの確立

環境・GX

Must+2/Will+6

資源を大切に循環させ、カーボンニュートラル社会を共に創るまち

KGI(達成目標)

- ① 市民一人一日あたりのごみ排出量の削減
- ② 日野市のCO2排出量削減率の向上

KSF(成功への鍵)

サーキュラーエコノミー(循環経済)の仕組み整備／再エネ導入・省エネ設備普及への支援／環境教育や啓発を通じた環境配慮行動(エコアクション)への参加市民の増加

産業・雇用

Must-1/Will-4

共創により社会課題をビジネスで解決し、多様な働き方が選べるまち

KGI(達成目標)

- ① 市内における新規創業件数
- ② 市内就業率(職住近接)の向上

KSF(成功への鍵)

ベンチャー・成長産業が活動しやすい支援拠点・制度／地域課題をビジネスで解決する産学官金の連携／テレワーク等 多様な働き方の浸透

Target 3: まちが輝く成熟と継承(花)

子ども・子育て

Must-2/Will+5

すべての子どもが安心して育ち、学び、将来の夢を自由に描けるまち

KGI(達成目標)

- ① 子ども・若者の自己肯定感及び幸福感(ウェルビーイング)の向上
- ② 地域の子育て支援サービス・環境への満足度の向上

KSF(成功への鍵)

子どもが安心して通える居場所と話を聞いてくれる大人がいる／妊娠から子育て期まで柔軟な支援、敷居の低い相談が機能している／地域全体で子育てを支える取組を実施・支援している

住宅・居住環境

Must-3/Will-3

住居が適切に更新され、良好な住環境が維持・形成されるまち

KGI(達成目標)

- ① 空き家等の利活用件数
- ② 若年・子育て世帯の定住率

KSF(成功への鍵)

住宅ストックの適切な維持・改修・更新の推進／空き家を賑わい拠点として活用する支援策／緑豊かな環境と都市の利便性の両立等、ライフステージの変化に柔軟性がある

地域コミュニティ・共生・共創

Must-4/Will+3

誰もが役割を持ち、デジタルとリアルの融合でつながり、自らまちを良くする活動が広がるまち

KGI(達成目標)

- ① 地域課題解決に向けた「共創プロジェクト」等の実施件数
- ② 市民参加型の地域活動等への参加率

KSF(成功への鍵)

いつでもどこでも様々な情報に触れ発言できる環境がある／多様な主体が地域資源を活用し連携しやすい体制がある／誰もが気軽に立ち寄れる「居場所」の存在

Target 3: まちが輝く成熟と継承(花)

福祉・包摂

Must-5/Will+4

支え合いの輪が広がり、誰も孤立することなく、多様な個性が尊重されるまち

KGI(達成目標)

- ① 社会的孤立を感じている市民の割合の減少
- ② 障害のある方の市民参画への参加率の向上

KSF(成功への鍵)

様々な主体から継続的に見守りや声かけが行われる環境がある／イベントや居場所など、様々な場に多様な属性の人が参加できる／多様性への理解とスキルマッチングの仕組み

農業・観光

Must-6/Will+1

都市農業と共生し、地域の魅力が磨かれ続け、訪れたいまち

KGI(達成目標)

- ① 都市農地の保全・活用面積の拡大
- ② シビックプライド指標の向上

KSF(成功への鍵)

農業者に加え、市民等多様な人材が参画し、農業への理解が深まっている／日野の良さを、必ずしも言語化できなくとも、自分の中にみんな持っている／日野特有の魅力を誰もが発信している

芸術文化・スポーツ

Must-7/Will-6

文化・スポーツを日常的に楽しみ、心豊かな暮らしとまちへの愛着を育むまち

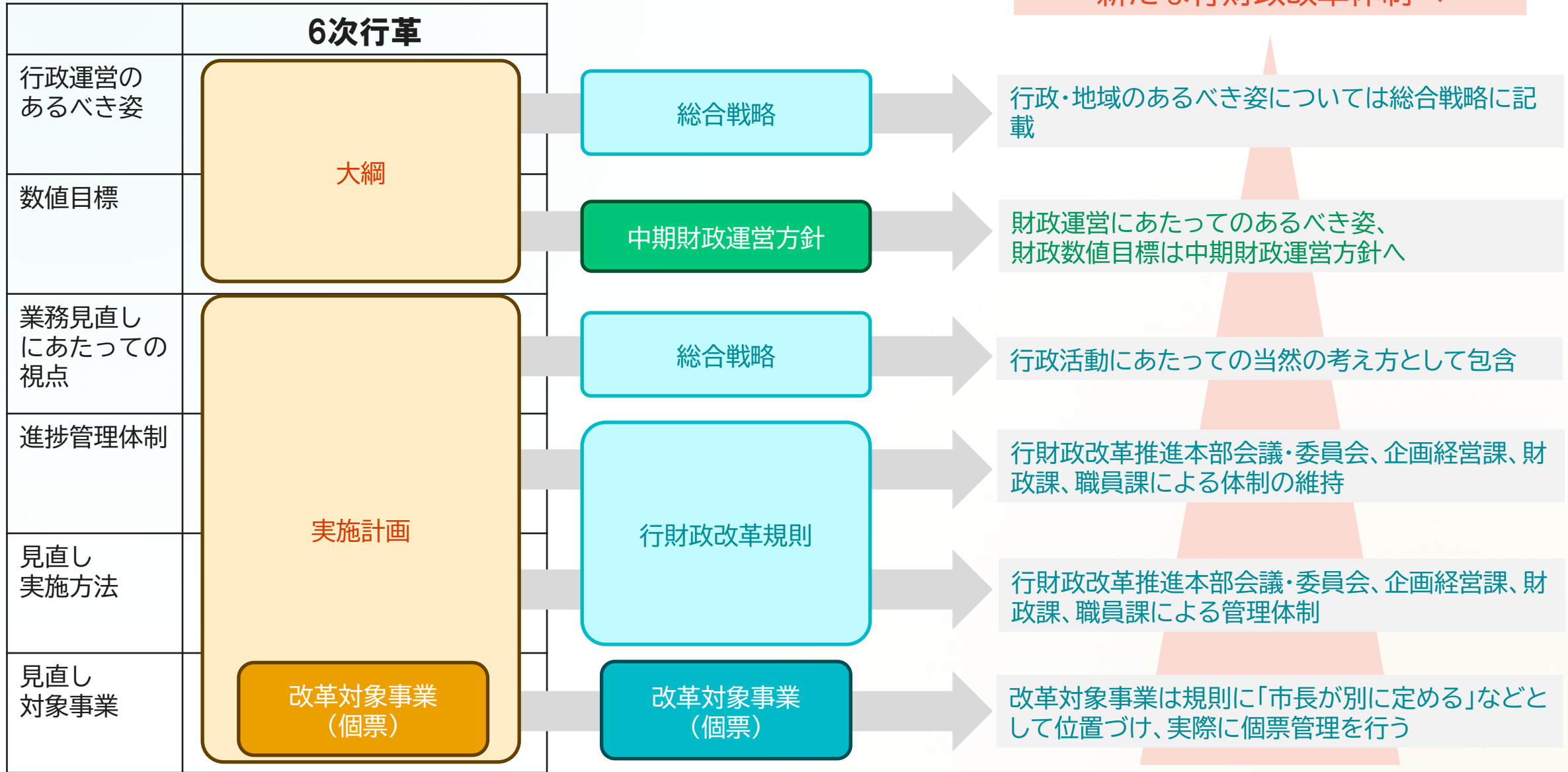
KGI(達成目標)

- ① 芸術文化・スポーツ活動の日常的な参加・実施率
- ② 芸術文化・スポーツを通じた地域の賑わい創出

KSF(成功への鍵)

市民が身近な場所で触れ体験できる機会・施設の確保／芸術家・アスリートと市民の交流・発表の仕組み／民間活力や寄附を活用した持続可能な運営体制

行財政改革の取り組み方(案)



(参考)改革対象事業

改革対象事業一覧(R7.12時点)

	取組項目	主担当課
1	公園管理等事業の運営のあり方の見直し	緑と清流課
2	道路補修・側溝清掃作業業務運営のあり方の見直し	道路課
3	児童館運営のあり方の見直し	子育て課
4	学童クラブ運営のあり方の見直し	子育て課
5	市立保育園運営及び給食運営のあり方の見直し	保育課
6	市立幼稚園の適正規模・適正配置	学務課
7	財政援助団体等への援助のあり方等の見直し	関係各課
8	下水道事業特別会計の健全化	下水道課
9	土地区画整理事業特別会計の健全化	区画整理課
10	経営健全化と地域医療構想を踏まえた役割の明確化	市立病院経営企画室
11	公設プールの適正な管理	文化スポーツ課

改革対象事業の個票

コード	020101		
強化取組方針	2.公共のベストミックス (1)サービス主体のリバランス		
取組項目	公園・水路管理等事業の運営のあり方の見直し		
主担当課	緑と清流課	関係課	
事業概要	公園・緑地・水路等における施設及び遊具等の点検、維持管理、草刈り清掃、樹木剪定等を行い、市民が安全快適に利用できる状態を保つ。		
目標	正規職員（作業員）及び会計年度任用職員が行っている公園緑地等の維持管理業務について、民間委託を拡大していく。		
	基準値 (R3末)	民間委託の割合 0%	目標値 (R9末) 民間委託の割合 76.5%

年度	年度計画			年度実績		
	取組内容	目標値	財政効果 以外の効果 財政効果	取組実績	成果値	財政効果 以外の効果 財政効果
R5 (2023)	維持管理業務の民間委託の段階的拡大	11.8%	円	現場作業員数を17人→14人に削減し、その分を民間委託へ拡大	17.6%	円
R6 (2024)	維持管理業務の民間委託の段階的拡大	23.5%	円	現場作業員数を14人→13人に削減し、その分を民間委託へ拡大	23.5%	円
R7 (2025)	維持管理業務の民間委託の段階的拡大	41.2%	円			円
R8 (2026)	維持管理業務の民間委託の段階的拡大	52.9%	円			円
R9 (2027)	維持管理業務の民間委託の段階的拡大	76.5%	円			円
時点	将来発生する 財政削減計画額	円		将来発生する 財政削減見込額	円	

取組状況	計画どおり	取組課題	維持管理対象地の増加、管理樹木の高齢大木化、市民要望の増加が著しく進む中、それにあたる技能労務職員及び会計年度職員が高齢化し作業効率の低下や事故ケガ等が懸念されている。
------	-------	------	--

推進体制・進行管理の仕組み

内部モニタリング(庁議)

市長・副市長・教育長・各部長等で構成される「庁議」を基本の場とし、全部署横断的な視点で戦略の進捗を管理。KPIの進捗共有、ボトルネック解消、リソースの再配分を迅速に意思決定します。

行財政改革推進本部

市長を本部長とする経営層が、財政規律の遵守と持続可能な経営基盤の確保という観点から、戦略全体の投資バランスを管理。「未来への投資」と「経営の規律」をセットで判断します。

行財政改革推進委員会(外部評価)

市民・学識経験者等の外部有識者による評価・提言を実施。外部の視点を入れることで、戦略の透明性を高め、市民のWill(思い)から逸脱していないかをチェックします。

KPI(重要業績評価指標)とスクラップアンドビルド

判定

KPI未達の事業は
見直し・廃止も検討

KPI

日々の行動数値
(例:健診WEB予約率)

KSF

必要な状態・条件
(例:予防意識の向上)

KGI

目指す最終成果
(例:健康寿命の延伸)

理想の未来像へ

KPIの成果が上がらない事業については、手法の見直しや廃止を伴うスクラップアンドビルドのサイクルを積極的に採用します。限られた予算・人員はKPIを上昇させる取組に優先配分します。